

「3.11 伝承ロード New Destination プラン」 第4回 三陸沿岸道路エリア活性化検討会

日時：令和6年2月20日（火）13時30分～
会場：マリオス 18F 188 会議室

意見交換内容

- 1)前回の振り返り
- 2)モニターツアーの結果

(1)旅行者

- 河北新報社 今里委員
 - ・「満足度」の項目でアンケート回答者の半数が未回答であるが、事務局ではどういう解釈をしているか教えて頂きたい。

- 事務局
 - ・満足度の評価ができない、提示された5区分では評価できないという意図だと考えている。
 - ・モニターツアー時に不満があるとの声がなかったため、不満はあったが遠慮して未回答にしていたわけではないと考えている。

- 河北新報社 今里委員
 - ・未回答者は全ての項目で未回答か。

- 事務局
 - ・その他の項目については、回答している。

- 南三陸ホテル観洋 阿部委員
 - ・「満足度」の項目でアンケートの半数が未回答であることが私も気になった。私も意見が言いにくいから未回答にしているのではないかと思った。
 - ・言いにくいところを確認しながら今後の参考にすると良いと思う。

- 奥村座長
 - ・モニターツアーを実施した3ルートでは、天候に問題はなかったか教えて頂きたい。

- 事務局
 - ・モニターツアーを実施した日において、天気が悪い日はなかった。特にCルートのツアーの日は晴天であった。

- 岩手日報 太田代委員
 - ・岩手県のルートにある「うのすまい・トモス」「たろう学ぶ防災ガイド」は熱心に活動されているガイドさんがいる。心に響き、印象に残る場所だと思う。
 - ・学びたいと意欲がある外国の方には良い面だけではなく、上手いかなかった面も正直に話すことで評価へとつながる。そこに力を入れれば回るだけではなく、学びたい人にも良いツアーになるのではと思う。

●岩手県北自動車(株) 平澤委員

- ・旅行エージェントがモニターツアーに参加して、学んだことを会社に持ち帰って活かした事例があれば教えて頂きたい。

●事務局

- ・持ち帰って会社で活かした事例は把握していないが、アンケートでは「誘客できるか検討していきたい」「旅行行程などに活かして行きたい」などの声があった。

●東日本大震災津波伝承館 澤田委員

- ・Bルートで受け入れさせて頂いたが、印象に残るかは見学時間によって差が出るのではないかと考えている。当館は30分程度しか見学時間がなかったため、今後は見学時間に応じて、見学してもらいたい箇所を選ぶようにしていきたいと考えている。

●奥村座長

- ・個人の興味に合わせた見学パターンを作っているか教えて頂きたい。

●東日本大震災津波伝承館 澤田委員

- ・見学時間に応じた見学コースを設定している。
- ・事前申し込みでリクエストがあった場合は、それに応じた見学コースを提供している。

●河北新報社 今里委員

- ・Aルートについて、印象に残った場所として観光地の目玉である「シーパルピア女川」や「いしのまき元気市場」が挙がっていないのが気になった。見学時間が長く、集中力を持続できなかったことが要因ではないかと思う。
- ・ツアーはどのような人をターゲットにしているのか教えて頂きたい。

●奥村座長

- ・このツアーは一般客をターゲットにしている。
- ・エージェントの方たちはどんな客層にどのような観光地のニーズがあるかある程度把握していると思うので、そのような素材をピックアップ出来ればよいのではないかと考えている。

(2)台湾教育関係者

●(一社)日本旅行協会東北支部 中村委員

- ・観光地それぞれに魅力があると考えている。そのため、ツアールート満足度が高かったか把握する必要があると思う。
- ・旅の重要なエッセンスとなる食事、休憩、お土産等にも着目していきたい。
- ・また、教育旅行など団体で行動する場合は、バスの移動時間で予習・復習出来ればよいのではないかと思う。

●岩手日報 太田代委員

- ・台湾にはどのようなニーズがあるのか教えて頂きたい。台湾の学校関係者が思う教育旅行のニーズにマッチしているツアーを提供していく必要があるのではないかと思う。

●事務局

- ・令和4年度に台湾の学校にヒアリングをした際、伝承施設を見たことない方がほとんどで、伝承施設を見てみたいとの声が多かった。
- ・また、台湾も日本同様島国であり、地震・台風等の災害が多発しており、伝承施設に対して興味があったので、台湾の方に日本の伝承施設を知ってもらいたいとの思いもあった。

●奥村座長

- ・裏側にも興味があるのではないかと考えている。
- ・学生が相手となると、「伝承・教育」ではなく、新しい「気づき・視点」が必要ではないか。
- ・学んで帰国してもらっただけではなく、気づきや違う視点を感じて帰国してもらう方が大事だと思う。

3)Web アンケートの結果

●岩手県復興防災部 米澤委員

- ・施設に関心と三沿道の認知に相関関係があったか教えて頂きたい。また、整理するに辺り、どのような結果を想定していたか教えて頂きたい。

●事務局

- ・伝承施設を認知している方は三沿道の認知度も高いのではないかと想定して整理したが、そのような傾向は見られなかった。
- ・現段階では関係性がよく分からない、ということが分かった。

●東北地方整備局道路部 松原委員

- ・WEB アンケート結果を今後どのように活用していく方針であるか教えて頂きたい。

●事務局

- ・今後活性化フォーラムを開催する予定であり、その際に活用していきたいと考えている。

●岩手日報 太田代委員

- ・「石巻市震災遺構大川小学校」の認知度が高いが、ツアーに活用していく予定はないか教えて頂きたい。

●事務局

- ・弊社では研修会を行っており、その際に要請があれば活用していく方針である。
- ・大川小学校をツアーに組み込むには「大川伝承の会」の語り部さんがいないと成り立たないため、協力関係が必要。

●奥村座長

- ・伝承施設に行く際にルートを検索するはずなので、伝承施設に行った方の三沿道の認知度が高いのは想像できる。
- ・ニーズはあるが認知されていない理由等を把握していく方が今後活かせると思う。
- ・次回アンケート調査を実施するのならば、ICの近さなどが分かればよいのではないか。

●南三陸ホテル観洋 阿部委員

- ・認知度が 20%程度とのことが、リピーターは「人」に会うためにやってきている。
- ・沿岸施設にリピートしてもらうには、施設ではなく人との関わりが重要であると思っている。

●岩手県北自動車(株) 平澤委員

- ・リスティング広告にて、仙台-宮古線の広報をしているが、検索ワードとして「仙台 高速バス」が多く使われていた。そのため、一般客は三陸に旅行する際に仙台をゲートウェイとして考えていると思うので、仙台圏での情報発信が重要であると考えている。そのデータも提供でできる。

●(一社)東北観光推進機構 紺野委員

- ・アンケート調査結果の使い方が大事で、検討会のみでは交流人口を拡大するには限界がある。アンケート結果を活かし、他の組織と連携していく必要があると考える。
- ・また、伝承施設の入場者数や三浴道の交通状況などデータ化して調査し、今後の戦略を立てる必要があると思う。